



# Weekly Report



ロータリーのこころを地域に広めよう

佐世保北ロータリークラブ 2010～2011年度 RI 会長 / レイ・クリングスミス ガバナー / 高原武彦

会長/宮原明夫 幹事/峯 徳秀 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトリアホール（毎週月曜日）  
創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201  
E-mail [office@sasebonorth.org](mailto:office@sasebonorth.org) Web <http://www.sasebonorth.org>

【本 日】	会員数44名	出席 30名	欠 席 4名	出席規定免除会員 (10)	出席 9名	ピジター 1名	出席率	90.70%
【前々回】	会員数44名	出席 28名	メークアップ 6名	出席規定免除会員 (10)	出席 7名		修正出席率	100.00%

## 《ゲスト卓話》

歌人 下田秀枝 氏

## 「生活の中の短歌」



短歌とは、月並な言葉ながら生活そのものである。旅に出ると、目的地のみならず道中の風景や出来事、現地の人々の表情や食の味に至るまで全てが感動の対象とな

るし、日常生活においても、花鳥風月に限らず家族や隣人の全てが歌材となる。短歌を始めたばかりの人が、見聞きするものを逐一観察し五、七、五と指を折る姿はよく見かけるところだが、身巡りのものを意のままにリズムに寄せられるようになると世界が展けたような気がするものだ。

当分はそれだけで楽しめる。だが、やがて、事実があるがままに歌うことが稚拙なことに思えてくる。素直に詠むよりもひと捻りしたものの方が、また事実詠よりも心象詠の方が、格が上であるような気がしてくる。そうなると、ハタと詠めなくなる。

そんな時は、ぼんやり周囲を眺め回すか他人の歌を片端から読んでみるのがよい。盗めるものがあればそれも結構だがほとんどは盗めない。表現だけ真似ようとしてもその底にある心の動きが伴わないからだ。もがいた揚句、結局は自分の歌風に戻ってくる。誰の為でもない自己表現の手段として歌を詠むめだというところに落ち着くと、躓きながらでも生涯詠み続けようという決意が生まれる。

短歌を詠めば辞書も引くし、推敲は脳の活性化にもつながる。季語を考える煩わしさもなく、紙と鉛筆さえあれば平易な言葉で思いを連ねられる短歌は、社会の高齢化が進めば進むほど、価値ある文化になると信じている。

### 《會長挨撈》

宮原明夫 会長

先週末から雪が降り、寒さも一段と厳しくなっていますが、皆さん風邪など大丈夫でしょうか。この寒さも週の中頃には少しゆるむようで、まだ明日から2月ですが、春の訪れが待ち遠しいものです。

日曜日の深夜0時からサッカーのアジアカップの決勝があり、見事日本がオーストラリアを1対0で破り、2年ぶり4回目の優勝をはたしました。延長戦での決着で、最後まで観戦された方は日曜の朝が起きられなかったのではないのでしょうか。これまでは、優勝回数は日本とイランとサウジアラビアが3勝で並んでいましたが、これで日本が一步抜き出たわけです。延長後半に途中出場が決勝ゴールを決めた在日韓国人4世の李 忠成もあっばれでしたが、若手中心のチーム作りを行ったザッケローニ監督の采配も見事でした。3年後のワールドカップブラジル大会まで更に強くなれるように応援しましょう。

さて、本日の卓話は、佐世保在住の歌人、下田秀枝（ほずえ）様に『生活の中の短歌』といったタイトルでお話を頂きます。ご紹介は後ほど小西会員の方からあるとおもいますが、皆さんご存知のように、原爆の悲惨さを読んだ『帰り来ぬ夏の思い』の作者で、吉永小百合さんの朗読でも有名です。「黒い雨の降りしきる中、僕は母さん 探してます」ではじまる詩で、本日は時間が短いため短歌のお話を中心になるのかもしれませんが、楽しみに拝聴させていただきます。

[illegible]

## 《幹事報告》

峯 徳秀 幹事

## 1. 例会變更

- ・佐世保中央RC

2月10日 (木) 18:30~

セントラルホテル→18:30～ 翠濤園 錦  
(延寿会のため)

・ハウステンボス佐世保RC

2月1日（火）休会を→18：30～ 夫人同伴に変更  
ホテルヨーロッパ例会場  
2月8日（火）休会（定款第6条第1節）

2. 来 信

・国際ロータリー

2009～2010年度  
「国際ロータリーとロータリー財団年次報告書」

・ガバナー事務所

- ①国際ロータリー日本事務局  
2月ロータリーレートのお知らせ 1ドル＝84円
- ②国際ロータリー事務総長より  
4つの新しい試験的プログラム 概要資料
- ③米山奨学生2011年学年度合格者一覧  
(地区委員 中島会員宛)
- ④ガバナー月信 2月号

・オクトン

2011～2012年度国際ロータリーのテーマ  
例会場掲示幕頒布のお知らせ

・株式会社 クマヒラ（東京RC会員）

「抜萃のつづりその七十」

3. 伝達事項 【理事・役員会報告】

①『佐世保北ロータリークラブ慶弔規定』における弔事の取扱いに関し、クラブ会員への通知・連絡の範囲については規定がありません。本年度理事・役員では、去る1月27日に開催されました第7回理事・役員会において協議の結果、次のとおり全会一致で決定しましたので皆様へ通知致します。  
『本年度下半期においては、会員の配偶者の両親死亡時のクラブ会員への通知・連絡については、当クラブ事務局がその計報並びにその詳細を知り得た場合は、全会員に連絡・通知をする。また、元会員（短期在籍者を含む）本人死亡時の現会員への通知・連絡の取扱いについても同様とする。』

②次回例会はロータリー情報委員会の卓話「ロータリー創立記念日」です。

《来訪ロータリアン》

・ハウステンボス佐世保RC 内海和憲 君

《ロータリー三分間情報》

湯口純二 ロータリー情報委員長  
「ロータリーバッジの重み」

ロータリーの友12月号に「ロータリーバッジの重み」と題した投稿記事が掲載されていました。この方にとっては、ロータリーバッジは自分が社会に貢献していることを自覚させてくれる証であり、このバッジを見るたびに「恥ずかしいことはできない」と行動しているそうです。このようにロータリーバッジは常日頃から私たちが

ロータリアンであることを認識させてくれる大事なものです。

例会やロータリーの諸行事に参加するときは、たかがバッジではなく、バッジの重みを意識して必ず着用するようにしましょう。

\*\*\*\*\*

《ニコニコBOX》 田平 孝 親睦活動委員

宮原明夫 会長 古賀新二 副会長 峯 徳秀 幹事

本日卓話をして頂く下田秀枝様のご来訪を心より歓迎いたします。「短歌」と言えば、五・七・五・七・七の31文字、これ位しか理解できておりませんが、本日のお話『短歌の心』で勉強させていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

村上寅雄君

昨日の表千家の初釜のお茶会に小西さんご出席お疲れ様でした。本日の卓話「短歌のお話」下田先生のお話をしっかり聞かせて頂きます。

宮崎有恒君

本日の卓話をされる下田秀枝様、寒い中ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。  
ロータリー情報委員会としてあるまじきことにロータリーバッジをしておりませんのでニコニコします。

小西宗十君

村上先生、昨日の初釜お疲れさまでした。下田秀枝（はずえ）先生、本日はようこそいらっしゃいました。卓話楽しみに拝聴いたします。

西川正美君

宮崎さん、湯口さん、土曜日はお疲れさまでした。氷の滝はきれいだったでしょうネ。でも寒かったです。下田秀枝様、短歌の世界はわかりませんが少しでも理解できるよう、今日の卓話で解説ください。

湯口純二君

波佐見高校野球部の春の選抜甲子園出場を祝福してニコニコします。  
甲子園に選ばれたら峯幹事にニコニコ奮発しますと約束していましたが直接寄付に回す事にしましたので一口で勘弁してください。

山北恭行君 豊島揆一君 福田俊郎君 田島勝明君  
藤井良介君 須田 昇君 緒方信行君 深町 等君  
森 豊君 中井康晴君 渡会祐二君 田平 孝君  
大島居 宏君 深堀昌二郎君

本日は厳寒の中、「下田秀枝先生」ようこそいらっしゃいました。  
「短歌の心」頑張って学ばせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

本日の合計 26,000円

累計 899,000円

クラブ会報委員会 委員長 / 須田 昇 委員 / 日高省三 森 豊 蒲池芳明 (記事担当者 蒲池芳明)